

PPP / PFI

PFI (private finance initiative) とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して行う手法です。

PFI方式の主な事業方式に、民間事業者が施設を建設、公共に所有権を移転した後、事業期間終了まで運営するBTO (build transfer operate)、民間事業者が施設を建設、所有したまま運営し、事業期間終了後に公共に所有権を移転するBOT (build operate transfer)、民間事業者が施設を建設、所有したまま運営し、事業期間終了後に解体・撤去するBOO (build own operate) があります。

なお、PPP (public private partnership) は、PFIの概念を拡大し、公共サービスに市場メカニズムを導入することを旨に、サービスの属性に応じて民間委託、独立行政法人化、民営化等の方策を通じて、公共サービスの効率化を図ることをいいます。PFIもPPPのひとつの方法といえます。

国総研 建設マネジメント技術研究室 宮武 一郎

設計・施工一括発注方式

従来、国土交通省の土木事業では、設計と施工を異なる者によって実施する設計施工分離が原則とされてきましたが、近年、構造物の構造形式や主要諸元も含めた設計を施工と一括で発注する**設計・施工一括発注方式**が試行されています。この方式では、民間企業が有する高い技術力を有効に活用し、コストの縮減や工事目的物の性能・機能の向上、工期短縮等の施工の効率化等が期待されています。

民間・海外の調達においては、関連する方式として、建設物全体の設計が終わるのを待たず、設計ができた部分から、施工を並行して進めることにより早期に工事を完成させるファストトラック (fast track) や、プラント工場に関するものでは、運転要員の訓練も契約の一部とし、発注者は完成したプラントのキーを受け取って回せばプラントを稼働させることができるということからターンキー契約 (turnkey contract) と呼ばれている方式があります。

国総研 建設マネジメント技術研究室 宮武 一郎

プロポーザル方式 / 総合評価落札方式

調査・設計業務における**プロポーザル方式**は、調査・設計業務の調達において、当該業務の内容が技術的に高度なものまたは専門的な技術が要求されるもののうち、提出された技術提案に基づき仕様を作成する方が最も優れた成果を期待できる場合に適用されています。国土交通省の場合、総合評価型と技術者評価型を適用しており、実施にあたっては、総合評価型では業務の実施方針と業務内容に応じた具体的な取り組み方法について技術提案を、技術者評価型では業務の実施方針を求めています。

調査・設計業務における**総合評価落札方式**は、事前に仕様の確定が可能であるが、専門的知識、技術及び創意等によって、調達価格の差異に比べて事業の成果に相当程度の差異を生じるものと認められる調査及び設計に適用されています。国土交通省の場合、標準型と簡易型を適用しており、実施にあたっては、標準型では業務の実施方針と

業務の仕様の範囲内で品質向上の方法について技術提案を、簡易型では業務の実施方針を求めています。

工事における**総合評価落札方式**は、ライフサイクルコストを含めた総合的なコスト、工事目的物の性能・機能、工事中の環境の維持や交通の確保等の社会的要請事項に関する技術提案を入札者に求め、これらと価格を総合的に考慮して落札者を決定するもので、国土交通省のほぼ全ての工事に適用されています。国土交通省の場合、簡易型、標準型、高度技術提案型を適用しており、実施にあたっては簡易型では簡易な施工計画について、標準型では環境の維持、交通の確保、特別な安全対策等について、高度技術提案型ではライフサイクルコスト、工事目的物の強度、耐久性、供用性 (維持管理の容易性)、環境の維持、景観等について技術提案として求めています。

国総研 建設マネジメント技術研究室 宮武 一郎